



### ◆収蔵品について

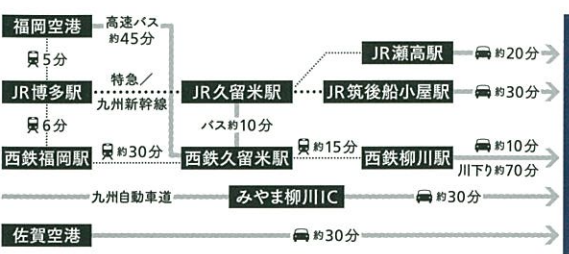
当館は、柳川藩主家時代、そして近代伯爵家時代にわたる立花家の美術工芸品を収蔵しております。国宝1点、重要文化財1点を含み約5000点の美術工芸品は、近世大名立花家の誕生から現在まで400年以上の長い時間をかけて形成され、連綿と受け継がれてきた貴重な歴史史料でもあります。

旧大名家が所蔵する美術工芸品の多くは、明治維新や第二次世界大戦後の混乱期に流失し、今日までまとまった形でコレクションが維持されている例は、それほど多くありません。立花家の場合も大名家時代、伯爵家時代それぞれの御道具類は部分的に失われています。しかし、現在まで伝えられている史料の質と量は大名家・伯爵家の生活を語る高いレベルにあるといえます。

個々の美術工芸品としての価値はもちろんのこと、それらが結びつくことで歴史のダイナミズムを再現できることが立花家伝来史料の最大の魅力といえます。

### 立花家史料館

### 交通のご案内



- ◆ 西鉄天神大牟田線「西鉄柳川」駅から | タクシーで10分  
または西鉄バス沖端方面行きで15~20分、「御花前」下車
- ◆ 九州新幹線 JR「筑後船小屋」駅から | タクシーで35分
- ◆ 九州縦貫自動車道 みやま柳川ICから | 車で25分  
駐車場あり = 柳川パーキングセンター(1日500円)

### 国指定名勝 立花氏庭園 | 全体図



## 400年にわたる 武家文化の真髄を体感する



### ◆立花家史料館の概要

立花家史料館は江戸時代を通じて柳川を治めた大名、立花家に伝来する美術工芸品を収蔵しています。昭和26年に「御花歴史資料館」が発足し、柳川藩主立花邸「御花」の邸内において、大名道具の展示公開を始め、平成6年には貴重な文化財を展示するのにより適した施設として、新たに「御花史料館」が開館、平成23年2月に「立花家史料館」と名称を変更しました。平成25年12月3日、財団法人立花財団が発足し、それまでの運営母体であった株式会社御花から運営を引き継ぐこととなりました。平成26年12月1日には、公益財団法人として認定をいただき「公益財団法人立花財団」として立花家史料館の運営にあたっております。



# T

## 立花家史料館

Tachibana Museum  
Yanagawa



# T

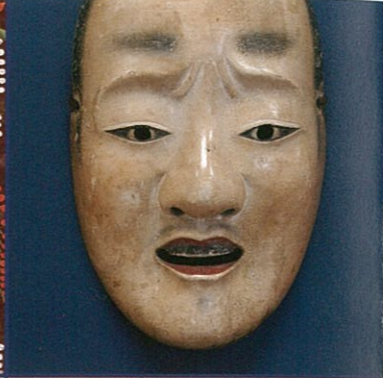
## 立花家史料館

Tachibana Museum  
Yanagawa

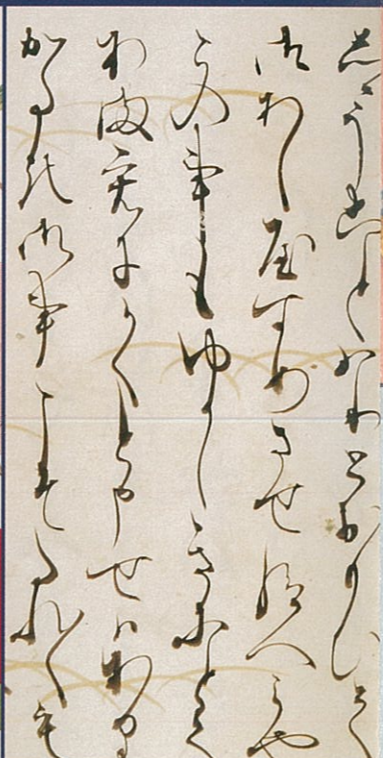
国指定名勝 立花氏庭園内  
〒832-0069 福岡県柳川市新外町1  
Tel.0944-77-7888 Fax.0944-77-7890  
info@tachibana-museum.jp  
www.tachibana-museum.jp

# ◆立花家の歴史年表

西暦	和暦	出来事
1567	永祿10	初代柳川藩主宗茂【立花家2代当主】、吉弘鎮種 <sup>よしかつ</sup> の長男として豊後国東郡宛 <sup>とんが</sup> (大分県豊後高田市)で生まれる
1571	元龜2	戸次鑑連、大友宗麟より立花城(福岡県糟屋郡新宮町)の城督を任じられる
1575	天正3	戸次道雪 <sup>みちゆき</sup> (鑑連)、息女・闇千代(7歳)に立花城の城督を譲る
1581	天正9	宗茂(15歳)、戸次道雪の養嗣子となり、道雪息女・闇千代(13歳)を正室とする この頃「統虎」と名乗る
1582	天正10	宗茂、立花城にて名字を「戸次」から「立花」に改める
1585	天正13	戸次道雪、龍造寺氏との戦中、筑後国御井郡北野(福岡県久留米市)で陣没する 享年73
1587	天正15	宗茂、筑後3郡13万石を与えられ大名となる 山門郡柳川(福岡県柳川市)を城地と定める
1588	天正16	宗茂、柳川城下黒門で隈部親永らを討ち取る
1592	文祿1	宗茂、朝鮮に渡海する<文祿の役> 渡海に先立ち「統虎」から「宗虎」と改名する
1597	慶長2	宗茂、朝鮮に渡海し、釜山城に入る<慶長の役>
1600	慶長5	宗茂、関ヶ原の合戦にて西軍に加担し、翌8月大津城(滋賀県大津市)を包囲、京極高次を降伏させるが、参陣できないうちに関ヶ原の戦いで西軍が敗北する 柳川に戻った宗茂は、江上八院(福岡県三浦郡大木町)にて東軍に転じた鍋島氏と交戦し、多くの家臣を失う 加藤清正、黒田如水との間に和睦成立、柳川城開城
1601	慶長6	田中吉政、筑後初太郎 田中氏が筑後国を治める
1602	慶長7	闇千代、肥後国玉名郡腹赤村(熊本県玉名郡長洲町)で没する 享年34
1606	慶長11	宗茂、江戸にて2代将軍秀忠に拝謁し、陸奥国棚倉(福島県東白川郡)に領知1万石を与えられる
1610	慶長15	宗茂、加増を受け領地高が3万石になり、実名を「宗茂」と改める
1620	元和6	宗茂、柳川10万9千6百石(筑後国南部：山門・三池・三瀧・上妻・下妻の5郡)に再封される
1638	寛永15	宗茂、原城討伐の命をうけ、2月6日原城に着陣<島原の乱>
1642	寛永19	宗茂、江戸にて没する 享年76 江戸下谷広徳寺に葬られる
1674	延宝2	鑑虎【立花家4代当主】、曹洞宗であった福蔵寺(柳川市奥州町)に鉄文道智を迎え、黄檗宗として開山させる
1738	元文3	真徹【立花家6代当主】、御花畑(現在の名勝立花氏庭園)に御屋敷を築く
1824	文政7	鑑賢【立花家10代当主】、藩校を設立し「伝習館」と命名する
1826	文政9	鑑賢、祭神として道雪、宗茂、闇千代を祀る三柱神社(柳川市三橋町高畑)を新しく建立する
1853	嘉永6	鑑寛【立花家13代当主】、アメリカ船浦賀来航のため、総州深川沿辺警衛を命じられる 安房上総沿海警衛を命じられる
1864	元治1	鑑寛、長州出兵の命を受ける
1868	明治1	柳川藩、会津戦争に出兵する
1869	明治2	鑑寛、柳川藩知事となる 三池藩主・立花種恭が三池藩知事となる
1871	明治4	鑑寛、柳川三の丸長久寺内に洋学校を開く 廃藩置県により柳川県となり、その後久留米、柳川、三池の3県が合併され三瀧県となる
1872	明治5	失火により柳川城天守閣、本丸、二の丸が焼失する
1878	明治11	御花畑(現在の名勝立花氏庭園)の普請が開始される
1884	明治17	寛治【立花家14代当主】、伯爵に叙任される
1886	明治19	寛治、福岡県山門郡中山村(柳川市三橋町中山、現在の「立花いこいの森」)に農事試験場をつくる
1892	明治25	寛治、橘蔭学館の運営を移譲され、私立尋常中学伝習館とする
1907	明治40	西洋館・大広間・住宅建築に着工(亀田友次郎設計・中島文吉技師長)
1935	昭和10	鑑徳【立花家15代当主】、島村和雄と養子縁組し、二女・文子と和雄が結婚する
1936	昭和11	橘香園(福岡県大牟田市上内)が開墾される



## 高峻にして温雅、豊かに 花開く大名文化の世界



### ご利用案内

開館時間 9:00~18:00 入館は17:30まで

休館日 展示替期間中  
不定期ですので当館年間スケジュール表でご確認ください

入館料	一般	500円
	高校生	300円
	小中学生	200円

- ・上記金額で、国指定名勝立花氏庭園内の全施設(松濤園、西洋館、大広間、立花家史料館)のご見学ができます。
- ・障害者手帳等をご持参の方および介護者1名は半額となります。
- ・柳川市内の小中学生は無料。
- ・特別展開催時に、一時的に入館料が変更される場合がございます。

